東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　第2299回例会　2014.2.27

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

■司会：
山本例会運営委員長

■点鐘：野村会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」
◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：
嶋田パスト会長

ただいまご紹介にあずかりました、多摩信用金庫東村山支店支店長の西河と申します。よろしくお願いします。

私ロータリーのこと初めてでございまして、私なりに少し勉強させていただきまして、1905年シカゴで発足されて奉仕の精神を理念にしている会と聞いております。

また日本で発足の契機となった時が関東大震災の時と聞いており、近々も大雪などもそうですが互いに助け合いの精神というのが国際的にも非常に高い評価を受けていると、そういう話を聞くとロータリーの活動が震災の時など基板となっているのだと感じております。

私も1年目で支店経営を任されておりますので、ここでの活動を是非職員に伝えて、良い支店を作ってまいりたいと思いますので、皆様今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

■表彰

■ポール・ハリス・
フェロー：嶋田会員

■入会式

■入会者挨拶：西河博史

■会長報告　野村会長

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／田中　重義
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

皆さん改めましてこんちわ。先日の地区大会は皆さん何か収穫はありましたでしょうか？
私と幹事は、前日の18日午後3時から会長・幹事会があり、学友の挨拶があり地区ローターアクトを始めローテックス迄で、6人の挨拶があった後に「指導者育成セミナー」が質疑応答を含めて約60分ありました。卓話者はＲＩ理事の松宮剛さんという茅ヶ崎ＲＣの方で、実は日韓親善会議の時に朝鮮通信士について90分の講義をされました。会議後に一緒に食事をして、存じ上げていた方です。当日の内容については、後日お知らせするつもりですが、非常に良く出来た解りやすいパワーポイントの資料でした。その後、ＲＩ会長代理歓迎晩餐会があり、千玄室さんと親しくお話をさせていただきました。19日の新入会員昼食会に出席した4名の方々もきっと何か収穫があったと信じています。

■幹事報告　石山幹事

■ガバナー事務所：
・地区大会の礼状の受理
・2014～15年度「地区クラブ奉仕委員会委員」承認書の受理について
　地区クラブ奉仕委員会 委員：戸澤忠会員
・2014年ロータリー国際大会の委任状について
　3/14までにEメールにてクラブへ配信予定
　→プリントアウトし国際大会に持参

■2012～13年度クラブ奉仕委員会：
「(仮)石川パストガバナーの会」開催の案内の受理
2014年4月1日(火)　17:00～
於　東武ホテルレバント東京

■国際ロータリー日本事務局：
・3月のロータリーレート　1ドル＝102円
・ポール・ハリス・フェロー2回目承認ピンの受理について
　嶋田憲三会員へ

■多摩分区ガバナー補佐(東京福生中央ＲＣ)：
2013～14年度第6回現・新合同多摩分区連絡会の案内の受理
2014年4月13日(日)～14日(月)
於　ホテル小暮

■(公)東村山市体育協会：
春季東村山市民体育大会総合開会式の案内について
2014年4月6日(日)　10:00～
於　東村山市民スポーツセンター

■回覧：
第68回国民体育大会小冊子の受理
2013年手続き要覧(ロータリアンの手引き)

■出席報告　荻野例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
30	24	0	5	82.14

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：5名
■前々回出席率メークアップ修正後：80.77％
■前々会メークアップ者：
　中條会員：理事会
　山本会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　中丸パスト会長

◆細　渕　様：本日はお招きありがとうございます。今の社会にロータリー精神は不可欠です。野村会長はじめ、会員の皆さんの更なる精進をお祈りします。
◆野村会長、石山幹事：
西河博史さん入会おめでとうございます。
◆目時会員、戸澤会員：
細渕さん、本日は卓話ありがとうございます。
◆當麻会員：細渕さん、本日の卓話楽しみにしていました。西河さん、入会おめでとうございます。成田さん宜しくお願い致します。
◆野崎会員：先日の地区大会、宜野湾ＲＣとの懇親会では、多くの出席を頂きありがとうございました。
◆田中会員：細渕名誉会員、楽しみにお待ちしておりました。西河さん、頼りにしています。成田様、ぜひ入会お待ちしております。
◆野澤会員：西河さん、入会おめでとうございます。
◆樺澤会員：細渕様、卓話楽しみにしています。西河様、ＲＣを楽しみましょう。
◆嶋田会員：細渕前市長、今日は卓話ありがとうございます。
◆戸澤会員：西河さん、入会おめでとうございます。
◆北久保会員：
久我山高校から國學院大学同窓の西河様、入会ありがとうございます。
◆中丸会員：細渕様、ようこそおいで下さいました。

本日のニコニコ合計：　45,000円
累　　計　：1,036,324円

■ゲスト挨拶

■入会紹介者挨拶：
村田会員

先だって、うちのお店へ当会員のメンバーと成田さんが来られ会食をしました。
大変に盛り上がって、ゴルフが趣味と言うことで田中会員もすごく盛り上がり、本日は気持ちよくクラブに来ていただいております。

■挨拶：當麻増強委員長

増強委員長として初めて入会予定者を紹介いたします。本日卓話の細渕さんのお話を楽しみにしておられます。
卓話を聞いていただければ即入会していただけるものと思っております。それでは、成田さん自己紹介をよろしくお願いいたします。

■入会予定者挨拶：
成田 仁様

みなさんこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました、成田仁と申します。
住まいはロンドの向かい側、アウリオンシティーというマンションに住んでおりまして、会社は三鷹で不動産業をしております。
私40代後半ににになりまして、振り返ってみると地元に仲間らしい仲間が一人もいないことにきがつきまして、何かそういった機会があればと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

■委員長報告

■野崎地区米山奨学
委員長

先日の地区大会の後の宜野湾との友好を深める懇親会に当クラブでは18名、宜野湾クラブでは10名の多くの参加をいただき感謝申し上げます。
20日の米山奨学委員会の終了式では本年度は33名の学生が終了となりました。その際今年退任される田無米山奨学会理事長から終了生にそれぞれ修了証を渡しました。
またカウンセラーも同じ数だけいるのですが、代表ということでイズミケイトクさん本年度の宜野湾の会長でカウンセラーを務めておられましたので、是非お願いをしてくださいということで、イズミさんが代表して板橋理事長から感謝状をいただきました。
先ほど、お話がありましたが、19日の食事会の時に、モンゴルの方がお話をされました。この方はどういう方なのかと申しますと、1998年に山形北クラブの世話で山形大学に留学をされ、その後モンゴルで物理の高校の先生をしておりましたが奥さんと子供さん3人をつれて来られたそうです。
その後仙台の東北大学で博士号を取られたそうなんですが、当初来られた際は朝は新聞配達をして、娘たちの日本後の勉強を朝のうちに済ませて、夕方学校から帰ると運送屋の仕分け作業をやって、それだけでなくさらに居酒屋のアルバイトで夜12時まで働いてと大変な大変な生活をしていたそうです。
その方が、12年前にモンゴルに帰って、高校をつくって今まで1000人ほどを卒業させて、390人ほど海外へ留学をさせているそうです。390人のなかで300人は日本に留学をさせているということで、そのうち半分ぐらいが公金留学で後は安田財団だとかロータリー奨学金とかということで役だっております。
その他いろいろありますが、いずれにしてもモンゴルで直接この方は当地区で援助した方ではありませんが立派な実績をあげているということもあり、是非応援の方もよろしくお願いします。

■卓話

■卓話者紹介：
目時パストガバナー補佐

■卓話者：
当クラブ名誉会員
細渕一男様

本日のこの会場ですが東村山青年会議所の設立総会をやった覚えがあります。その時私は総委員長であり、非常に懐かしく思います。ＪＣを卒業して、のんびりしようかと思っていたところ当時の会長から、昭和53年8月にある方の入会式があるので見に来てほしいと言われ、当時としてはロータリーというものは非常に高い見識で財政的に豊かな方がお集まりと認識していたものですので、私ども手の届かないところと考えておりました。東村山新聞の記者がいて早速写真を撮られ、間もなく近く入会予定の細渕一男さんと紹介されてしまい、ズルズルと入会にいたったという訳です。

昭和42年2月23日が東村山ＲＣの設立ですが、当時は明治生まれが12名、大正生まれが13名、昭和生まれは1名だったそうです。そろそろ50年を迎えようとしている、歴代の皆さんのご努力ですばらしい実績を残しながら、それぞれの皆さんがロータリーに来ていろいろなことを話し合う中に、持ち帰り自分の職業を通してロータリーとしての奉仕の精神で職業に励んでおられるのだろうと思われます。ロータリーのことは皆さんご存じですので、難しいことはそのくらいにしたいと思います。

私が平成7年5月1日東村山行政を預かった時に、その時の目標としては　東村山市は行政マンは金がなく行くとこ行くとこ税収が上がらない脆弱だからあれもこれも出来ない大変だといった話を耳にたこができるほど聞いておりました。そのような話の中、私は市の商工会の委員をやっておりましたので内容はわかっておりました。このまま行くとポシャってしまうし誰かがやらねばいけないということで、偶然にもおだてられて私が任についたという訳でした。東村山の市長になり、市長室は大変孤独なところだよと言われました。

ともかく、私の目標は東村山に金が入る、担税力のある人が多く住むような町にしたいと、そして税収を上げてそれをきちっと市民にお返しする、それが行政の役割だと思っております。当時組合が大変強かった。庁舎に赤紙を貼ったりいろんなことをやっておりました。

これは、都じゃないとなかなか物事は進まないと思っておりまして、組合と仲良くして市に金が入る方向を作ろうと、この2つを私の大きな目的としました。3日目ぐらいでしたか、あえて組合の事務所に行きました。さっとお茶をのんで会話して帰っただけでしたが、組合の事務所に市長が行ったということが組合中に伝わり、後で話題になりました。

今までの市長と違い今度の市長は行革を訴えていたので、我々もやられるぞというような想いだったんではないでしょうか。その後、早速執行委員長と書記長に市長室に来ていただきました。執行委員長がよろこんでいて、市長室に入るのはこの市役所に就職して何十年たっているが、初めてだと言ってました。

組合であっても、東村山市役所という一家族と捉えて、私はその親父にあたるのかも知れない。皆さんはよく知っているプロだろうけれども子供なんだ。その子供が苦しんでいれば親は命がけで守るという旨の話をしたところ、執行委員長と書記長がわかりました。市長同じ方向を向いてこれから頑張りますと言われた。その時は本当に有り難かった。仲良くやろういつでも来たらいいと言いました。

そうしましたら何日かしたら、今度は組合が3Fの大きな部屋に集めて団体交渉をやると言っていました。これは私が市長の公約で化成小学校の隣りに保育園があり最初東京都がやっていた保育園でそれを東村山が受けて市の職員が直接やっていたんですね。それを民営化すると言っていたので、これをとりあげて私の弱いうちにやろうと思ったんですね。それで実はこうなので来てほしいと言われて団体交渉だと。私は団体交渉が好きじゃないので行きたくないなと言いましたが、助役がなんとしても行こうと言ったので行きました。

執行委員長や書記長がはちまきをして120人大勢集まっておりました。数で圧倒しようとしていたのかと思います。私は開口一番、これは法律では許されているが市民が見たらどう思うかな。120人に二時間やっていたら240時間遊んだことになっちゃうと、税金を払っている市民がみたらそう思うと思うし、私はこういうの好きじゃないな。トップ会談をやろうよ。いつでもいいよ毎月くればいいよと言って助役に任せて帰ってしまいました。

その後、組合も大分変わりまして、話し合いでことを進めるようになりました。ともかく組合は組合の立場があるんだろうからそれはキチンと守るよと言いました。しかし、東村山市役所は当時は日本で一番高い給料をもらっていると現状もありました。それもだんだんに改善して、おかげさまで12年やらしていただいて退任する時は大分さげて三多摩でも一番低い方に下げてまいりました。当時1051人職員がいましたがそれもおかげさまで、800人超まで減らしてきました。

そんなことをしながらやってきた訳ですが、人は金や理論だけでは人の心は動きませんね。普段どのように対処しつつやっていくか。

もう一ついい例があります。平成7年6月だったでしょうか。環境部の方が当時直接職員がゴミ集めをしていたので、登庁より2時間も前に出てきて、綺麗に片付けるんです。そして時間がまだあるので風呂にはいってキャッチボールしてたんですね。それを2階から見ていて、市長環境部は早く来て風呂入ってキャッチボールなどしてあれどうすんだと盛んに言うわけです。現場を見なきゃわからないので、環境部に行くというとすぐに電話が入って良いとこしか見せないので、写真屋に行ってくるなどと言って環境部に寄ったら、「市長今日は何ですか」とみんなで集まってすごい剣幕で言われた。みんなが早くに出てきて一生懸命頑張っているので激励と思って来たんだと。俺が責任もつから帰ってきて風呂入るなりなんなりしていいよ。あと市民から文句言われないように上手にやればいいと言いましたところ、とたんに皆の態度が変わって、それからというもの環境部もよくやってくれました。それまでは組合との対決もありましたから、どうしても皆目を尖られておりましたが、私が仕事始めとか仕事納めとか必ず行

くんですが、行くと拍手をして迎えてくれるようになりました。そんなこんなでやってきました。
　それから一番問題なのが、東村山はゴミがステーション方式といいまして、家庭で出たものも一カ所に決めて何でも出していたんです。無料で集めていたんです。出しいいのでよその人まで置いていってしまうんですね。そうすると、焼却した灰がよその自治体からくる度合いなんですね。灰の質が悪いと罰金とられるんです。それが2億円もかかってしまうんです。これはなんとかしなきゃいかんということで、有料にするとして有料化を打ち出しました。
　市長会というものがあり、日の出のゴミの最終処分場ももうもたない状況で、三多摩ゴミゼロ作戦をやりましょうとこういうことを市長会で提案したものでそれを身をもってやらなきゃいけないということで、早速帰って東村山の有料化にすれば多少ゴミは減るだろうと、有料化しました
　するとある政党が大変おこっちゃいまして、今まで無料でやってたのに突然ハンドルを切って、おかしいと、大きな多摩医療センターの方が集会所に集まって、行ったら散々怒られました。とりあえず、言いたいことだけ聞きました、よくわかりましたと。だけどもこのまま行くと東村山は金がないというところに持っていきまして、ゴミで2億円の罰金がありながら二十何億もかけて払っていたら、町がおかしくなってしまうと。もしかしたら、町中ゴミだらけになって収集できなくなるという話をしたら、だんだん変わってくれて、ではいいよ、と言ってくれました。
　今まで、金が入らない出てるだけでしたが、有料化というのは袋を買って頂くわけですから、金が入ってくると同時にゴミが減ってくる罰金も払わないで済むということで、戸別収集で各家庭で責任もってゴミを出してもらう、そんなことをやったもんですからおかげさまでゴミの方の関係も大分良くなりまして、それをいろいろな基金に積み立てたりして、おかげさまで12年間大変厳しかったけれども面白かったとも思っております。
　その他、色々ありましたが、決済などもどんどんしたり、早くするようにしたり、職員のやる気は上がっていきました。
　東村山は税収が乏しいと言われてきてどうしましょうと言われてきました。東京で住んでいる水はすべて東村山で濾しています。そして、小平霊園といいながら、お墓の大半は東村山です。都営もあり病院もあり、東村山はどこから税収をあげたらいいんでしょう、と総務局長は話すんですが、水に1tいくらの税金をかけさせてくれと言ったところ、もうそんなことは言わないでくれなどと言われました。ただそんなことを話しておきますと、その時はすぐに目に見えませんが、予算査定とか補助金の時に知らず知らず1億2億増えているんです。そういう状況をそのポストにおかれた人が、キチッと認識して動くことが大事だなと思いました。いくらそのときに文句だけ言っても普段から折に触れ皆さんと仲良くやっていくのが良いんだなと認識しました。
　これはやはり、ポール・ハリス・フェローを取るだけじゃない、奉仕することによってお互いに奉仕の精神でやることが大きな社会のプラスになるよ、これがロータリー精神の最たるところではないかと思っております。
　最後になりますが、人は金やものでは動きません。本当に人を好きになり、お互いにお互いを理解しながら奉仕の精神を持ってしっかりと心が伝わった時に、急場には温かい手が差し伸べられるということが多くあります。
　野村会長以下皆さんが本当にロータリーの心を研鑽しながら、進んで行かれることを望みます。
　野村会長をはじめ会員の皆様のますますのご繁栄を心から祈って参りたいと思います。本日はありがとうございました。

■閉会点鐘：野村会長